

# the tornado times

INCORPORATING


**DDR 元気創造集団**

社員を巻き込みブランディング

SEPTEMBER, 2020

## コロナ禍で ネットワークを強化し 商品の可能性を追求

### リボンガス株式会社

収束に向かったと思われた新型コロナウイルスが、緊急事態宣言の解除後に再び攻勢に転じた。第2波だけでなく、インフルエンザを含め冬場の感染拡大への警戒が強まっている。そんな中で、ウイルス対策としての温水床暖房の可能性を押し出し、普及の加速に向けて動き出している会社がある。

1994年に創業し、LPガスを届ける地域のガス屋さんとして、地元の信頼を積み上げてきたリボンガス株式会社。オール電化の波が徐々に押し寄せる中、「ガスだけじゃない!」と、蛇口の取替から住宅設備を含めた提案型の大規模リフォームまでを請け負う会社だ。ちょうど少子高齢化の問題が浮き彫りになってきた頃、高齢者は灯油を買いに行けなくなるだろうと目を付けたのが床暖房だった。中でも、エコナミが開発した「遠赤外線 温水床暖房」の品質と性能に惚

れ込み、「ユカカラ暖房」と名付けてその魅力を発信し続けてきた。

大きな特徴は、通常の床暖房に比べて熱の放射量がケタ違いに高く、吹き抜けの部屋でも十分な温かさを確保できることだ。極めて高い遠赤外線効果で高効率に部屋全体を温めることができ、サウナストーンや岩盤浴などで体を温める遠赤外線の効果も同時に得ることができるという。これを自由設計であらゆるところに敷設できることも魅力だ。

この品質を維持するため、製造から設計、販売、施工、アフターサービスまで一貫した責任施工体制を取っている。さらには、これを全国に向けて発信していこうと、賛同する30社を集めて2013年に立ち上がったのがFHS(フロアヒーティングシステム)だ。現在、FHSのパートナーは本拠地の九州だけでなく、関東や北陸までおよそ

60社で全国に広まりつつあり、各地にユカカラ暖房の体感型のショールームが増えている。

こうしたFHSパートナーに向けた研修は、熊本県の本部で定期的に行われていたが、コロナ禍では集まることができなくなった。やむなく研修内容を動画で配信することになったが、そこに思わぬメリットがあったという。それまでパートナー企業の参加者は一人で来ることが多く、講習を聞いた人がキーマンとなって社内へ伝達していた。それが動画になったことで、社内の誰もが講習を聞くことができるようになり、研修内容がより社内でも浸透するようになったという。社員全員で動画を見る企業もあるほどだ。この状況を受けて、よりネットワークを強化できる機会だと判断し、FHSネットワークに向けたメッセージを頻繁に発信するようになったという。

生活に欠かせない設備機器の買い替え需要は、コロナ禍でもあまり落ちていない。むしろ「巣ごもり需要」で室内環境が見直され、在宅時間が増えたことでネット検索時間も増え、商品の十分な比較検討がされているという。こうしたコロナ社会への対応について、その具体的な目標達成と具体的な戦略をネットワークで共有し、「なぜ今、ユカカラ暖房なのか」を明確にしながらその可能性を追求している。「例えば、大規模なイベントができない現状において、我々のコンパクトな常設ショールームが最大限に活用できること。またネット検索している人たちに、現場に行かずともWeb上で見積もりを出してあげる。強化すべきことはまだまだありま

す」と内海代表は言う。

空気が乾燥し、湿度が低い。そんな室内環境が感染拡大を招きやすく、この冬をどう乗り切るかが大きな課題となる中、感染拡大防止に効果的な「換気」に焦点を当てることで、新たな市場も見えてくるという。室内の空気を暖めるエアコンは、三蜜を回避するために換気をする、暖まった空気が室外に逃げてしまい、特に足元が寒くなる。一方、ユカカラ暖房はしっかり換気しても足元が寒くなる事はない。さらに、空気が対流しないので喉元の乾燥もなく、エアコンによる埃のない清潔な室内環境を省エネ実現できるなど、換気対策以外にもメリットがある。

三密回避の環境対策として、保育園や病院、介護施設はもちろんのこと、人が集まるオフィスや大型店舗・レストランなどでも新たな需要は見込めると内海代表は考える。今こそFHSネットワーク全体で力を合わせ、このユカカラ暖房の可能性を追求し、その普及に努めていきたいという。



携帯型オゾン水生成器  
田中 和広

世に知られるウルトラファインバブルの独自技術で、下請けからメーカーへと成長した田中金属製作所。高機能シャワーヘッド「ポリーナ」に続き、アフターコロナの新たな生活様式となるだろうオゾン水生成器「ポリーナO<sub>3</sub>ミスト」の開発に迫る。



小規模事業者持続化補助金  
<コロナ特別対応型>

愛知県で再び緊急事態宣言が出され、なかなか先が見えない状況が続く中、今、何を考えて行動を起こすのか。新しいことにチャレンジするために必要な、先立つ資金に利用したい小規模事業者持続化補助金についてお話しします。



株式会社 DDR

DDR MEISTA  
〒460-0026  
名古屋市中区伊勢山1丁目1-1  
伊勢山ビル4階C号

DDR BASE  
〒444-0871  
愛知県岡崎市大西2丁目13-17

Tel. 0564-65-7533  
Fax. 0564-65-7588  
E-mail. info@ldr38.com  
URL. http://www.ldr38.com

### YUKAKARA DANBOU

